

富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針（素案）
に対するパブリックコメントの実施結果について

1 パブリックコメントの概要

- (1) 実施期間 令和5年1月4日から1月31日まで
(2) 提出数 21通50件（うち有効数21通）
方法別 窓口持参0通、FAX3通、Eメール0通、
郵送0通、電子申請フォーム18通

2 パブリックコメントの内訳

大分類	件数
施設の再配置	17
通園方法	7
施設・設備	6
方針策定の進め方	5
財務	2
方向性	2
職員体制	1
給食	1
その他	9
計	50

3 パブリックコメントに対する市の考え
別紙のとおり

4 パブリックコメント後の修正点
なし

別紙

No.	大分類	中分類	ご意見の趣旨	関連頁 章番号	件数	ご意見に対する考え方
1	施設の再配置	幼稚園	私立幼稚園の願書提出の前（令和5年9月）までには、令和8年度からどのような再配置になるか、その他詳細も決定して公表・説明してほしい。	18頁5(1)①	1	具体的な再配置計画を速やかに策定してまいります。
2	施設の再配置	幼稚園	各小学校に付属している幼稚園は残すべきだ。	18頁5(1)①	1	子どもたちにとって適正な規模の園になるよう基本方針（素案）にお示しした方向性で再配置を進めてまいります。
3	施設の再配置	幼稚園	市立幼稚園全園存続させてほしい。	18頁5(1)①	1	
4	施設の再配置	全般	小学校区に1園の公立の保育所・幼稚園がのぞましいと思います。	18頁5(1)① 20頁5(2)①	1	
5	施設の再配置	幼稚園	3歳児クラスが20人は多すぎてとても不安だ。	15頁4(5)③	1	
6	施設の再配置	幼稚園	人数が多すぎると少人数の手厚い保育を希望する人が市立幼稚園を選択しなくなるのではないか。	15頁4(5)③	1	子どもたちにとって適正な規模の園になるよう基本方針（素案）にお示しした方向性で再配置を進めてまいります。
7	施設の再配置	保育所	市立保育所を減らさないでほしい。	20頁5(2)①	6	富田林市立保育所民営化基本方針に沿って4園に集約してまいります。なお、再配置の方法につきましては0歳児から順に募集を停止しながら、6年かけて進めてまいりますので、在園児童につきましては卒園まで園は存続いたします。
8	施設の再配置	保育所	送迎が困難になるので近くの保育園を残してほしい。	20頁5(2)①	2	
9	施設の再配置	保育所	保育所の民営化に反対です。	20頁5(2)①	3	
10	通園方法	幼稚園	通園方法として、徒歩、自転車、送迎バスを主に考えたほうが良いと思います。	15頁4(5)③	1	施設の集約により送迎が困難となる場合には、送迎のための駐車場整備や通園バスによる送迎も含めて検討してまいります。
11	通園方法	幼稚園	駐車場を確保しても、希望者が増えれば、応えられないと思うので送迎バスで遠距離をカバーできる形が良いと思います。	15頁4(5)③	1	
12	通園方法	幼稚園	通いにくいことが市立幼稚園選択のネックにならないよう整備してほしい。	17頁4(6)柱4①	1	
13	通園方法	幼稚園	通園バスを運行する予定が書かれていますが、富田林に住むものとして当然でぜひ利用者の声を聞きながら進めていただきたい。	17頁4(6)柱4①	1	
14	通園方法	保育所	市を大きく地区に区切った市立保育園を配置をすると送迎が困難になる家庭が発生するのではないか。	P21 図表23	1	
15	通園方法	保育所	南東部ブロックは広いので再配置されると送迎に自家用車が不可欠になり、地域に根ざした保育を進めるには無理があると思います。	P21 図表23	1	
16	通園方法	保育所	送迎が困難になるので近くの保育園を残してほしい。	20頁5(2)①	1	

別紙

No.	大分類	中分類	ご意見の趣旨	関連頁 章番号	件数	ご意見に対する考え方
17	施設・設備	幼稚園	施設・設備を早く充実して欲しい。	22頁6(1)	1	再配置の効果として生み出された財源を活用して充実を図ってまいります。
18	施設・設備	幼稚園	送迎時に雨風をしのげるスペースを設置して欲しい。	22頁6(1)	1	
19	施設・設備	幼稚園	手洗いにお湯が出るようにして欲しい。	22頁6(1)	1	
20	施設・設備	幼稚園	川西幼稚園の駐車場に関しては、総合福祉会館の駐車場を使ってはどうか。	22頁6(1)	1	いただきましたご意見も参考に、具体的な再配置計画を検討してまいります。
21	施設・設備	幼稚園	市立幼稚園・保育所としての機能を終えた施設の有効活用を検討すると同時に、地元に手入れの協力を呼びかけて状態保存を継続させたい。	22頁6(3)	1	
22	施設・設備	幼稚園	市立幼稚園でIoTの活用やデジタル化をすすめることが園児を呼び込む魅力の1つになると考えます。	22頁6(1)	1	
23	方針策定の 進め方	幼稚園	方針を示すのが遅すぎて他所の保育園や幼稚園を調べる期間が少なかったため、市立幼稚園を何園か閉園させるならもっと早く知らせてほしかった。	-	1	方針の策定につきましては、十分な検討を行い、市民の皆さんに再配置の必要性についてご理解を深めていただけるよう丁寧な説明を重ねた上で進めていきたいと考えております。
24	方針策定の 進め方	幼稚園	市立幼稚園を閉園させるなら素案の段階ではっきり発表すべきだ。	18頁5(1)①	1	
25	方針策定の 進め方	全般	コスト面からの検討で安易に既に策定されている計画を尊重することなく、実態の把握や関わりのある人々や子ども達の意見も聞いてください。	1頁1	1	これまでタウンミーティングやパブリックコメントでさまざまなご意見をいただいております。
26	方針策定の 進め方	全般	検討委員会の意見が尊重されているのか疑問だ。	11頁4(3)	1	基本方針の策定につきましては検討委員会の提言も踏まえて検討しております。
27	方針策定の 進め方	全般	困難に直面している子ども・子育て世帯への支援を充実させることを尊重し、又検討委員会での検討も継続し、計画を延期し再検討していただけるようお願いします。	-	1	
28	財務	幼稚園	各園が利用定員60人の場合の園児一人当たりの市の負担額はどれくらいになるのか知りたい。	7頁	1	単純計算で約56万円程度となります。
29	財務	全般	22ページの基本方針の推進では、「再配置の効果として、生み出された財源は、市の施策推進に効果的に活用」と記されています。これまでの幼稚園、保育所のためにあった予算をどこか違う所に使うという事ですか？	22頁6(4)	1	再配置の効果として生み出された財源は本市の子育て支援の充実に活用してまいります。
30	方向性	幼稚園	閉園は3年保育や給食などの新しい取り組みを数年間検証した上で検討すべきだ。	18頁5(1)①	1	いただきましたご意見も参考にして今後の施策を進めてまいります。
31	方向性	保育所	少子化であっても保育園のニーズが増えているのに、歳入がないからと保育園を削減することは、富田林には子どもを育てる財力が無く、将来的に魅力もない市になると思います。	-	1	保育ニーズの増加に伴う保育の受け皿確保につきましては、民間による認可保育施設の誘致により対応しています。

別紙

No.	大分類	中分類	ご意見の趣旨	関連頁 章番号	件数	ご意見に対する考え方
32	職員体制	幼稚園	再配置園には養護教諭を配置してもらえると安心して通わすことができる。	15頁4(5)③	1	いただきましたご意見も参考に、具体的な再配置計画を速やかに策定してまいります。
33	給食	幼稚園	小学校まで食缶を取りに行く運搬業務に教職員の時間が奪われています。その時間を子どもたちの保育ために使えるように改善していただきたい。	5頁3(1)①	1	いただきましたご意見も参考に、具体的な再配置計画を検討してまいります。
34	その他	幼稚園	市立幼稚園の園児を増やす努力が必要と感じます。	—	1	基本方針（素案）にもありますように、3年保育や預かり時間の延長、給食の実施、エアコンの整備などの施策を実施してまいりました。また、Facebookや市内商業施設を活用し市立幼稚園のPRや合同の入園説明会の開催などにも取り組んでまいりました。
35	その他	幼稚園	園児数を確保するために実施したこと努力したこと記載していただきたい。	5頁3(1)①	1	
36	その他	幼稚園	未就園児広場を拡充すれば園児数が増えると思う。	19頁5(1)②	1	
37	その他	幼稚園	(幼稚園の取組を)教育指導室がバックアップするべきだ。	—	1	
38	その他	幼稚園	子どもたちには自園だけではなく、いろんな仲間なかで物を考え感性を培うことを大事にしてほしいと思う。現場の教職員の声は大切に扱ってほしいと思う。	14頁4(5)	1	いただきましたご意見も参考にして今後の施策を進めてまいります。
39	その他	保育所	保育所の加配基準を見直してほしい。	—	1	支援を必要とするお子さんの状況に応じて対応してまいります。
40	その他	保育所	幼稚園も保育所も大切な子どもを預る場所に変わりはないので必要ならば力になりたいと思います。	—	1	
41	その他	全般	タウンミーティングやパブリックコメントでの意見やニーズをはね返すことなく受け入れて多岐に渡りすぐに実行する市の底力を知りました。	22頁6(4)	1	今後も子どもの最善を第一に考え様々な施策を進めてまいります。
42	その他	全般	富田林市の未来を担っていく子どもたちにどんな保育を行うかにより富田林市の方向性が決まっていき、そして私たち市民の生き方がつくられていくと思っています。	22頁6(4)	1	